

定 例 記 者 会 見 資 料

日時 令和6年1月25日（木）10：00～

場所 白石市防災センター2階 大会議室

- 1 教育実践ローンチ・シンポジウムin白石について
- 2 弥治郎こけし村開村30周年・市制施行70周年記念事業
第30回「雛の宴展」開催について

【記者会見の動画配信について】

記者会見の様様を記者会見終了後に動画配信させていただきます。
記者の皆さまもご理解願います。

白 石 市

令和6年1月定例記者会見資料

教育実践ローンチ・シンポジウムin白石 について

担当：教育委員会学校管理課

昨今、不登校の児童生徒数の増加が大きな課題となっており、本市も同様の傾向にあります。

本市では、令和4年度から「教育改革第2ステージ」として、「不登校対策」を柱の一つとして取り組み、不登校児童生徒の実態に配慮した特別な教育課程を編成することができる小中一貫の学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）を令和5年4月に開校いたしました。併せて、不登校の未然防止を軸とした、宮城県教育委員会「みやぎ魅力ある・行きたくなる学校づくり」事業に昨年度より取り組んでおります。

そこで、本市の特徴・特色ある取組・実践等の実際を共有する機会を設定し、共通の課題である「不登校」について主体的に考え、学び合うことで、今後の本市の不登校支援・対策の充実・推進を目的にシンポジウムを開催いたします。

日時、内容等の詳細は【別紙ちらし】を参照ください。

なお、本シンポジウムの案内ちらしは本市教育委員会ホームページにも掲載いたしますので、そちらも御参照ください。

また、本シンポジウムは県内各市町村教育委員会及び所管の小中学校、これまで白石きぼう学園に視察に来られました教育関係団体様に、御案内しております。

教育実践 ローンチ・シンポジウム

Launch Symposium on Education Practices in Shiroishi City

新しい学校のかたち —白石発の「キセキ」—

不登校児童生徒数は年々増加する中、2017年に「教育機会確保法」が施行され、不登校児童生徒に対して、多様で適切な教育機会の保証が重視されました。本市においても不登校が喫緊の課題であります。その対策として、宮城県教育委員会「みやぎ魅力ある・行きたくなる学校づくり」推進事業に昨年度より取り組んできました。また、今年度4月に小中一貫の「学びの多様化学校」（いわゆる不登校特例校）を開校しました。現在、学びの多様化学校である白石南小学校・白石南中学校（通称：白石きぼう学園）」には日々多くの児童生徒が連続して休むことなく通っております。

本シンポジウムでは、「不登校未然防止に大切なものは何か…」「なぜ不登校だった子供たちが、白石きぼう学園を居場所とし、楽しく通うことができているのか…」「魅力ある行きたくなる学校とは何か…」これまでの歩み・現場のリアルな声から、不登校児童生徒を生まない学校づくり、未然防止や早期対応等の方向性を考え学び合うことで、本市の不登校支援を進化・深化させていくことに生かしていきます。

白石 きぼう学園

白石市立白石南小学校
白石南中学校

魅力ある・行きたくなる
学校づくりから
見えてきたことは…

学びの多様化学校
から学ぶべきことは…

プログラム（裏面詳細）

【第一部】 白石発の「キセキ」実践報告

この1年の取組・実践を児童生徒の声や姿、保護者の声を交えてリアルにお伝えします！

- 魅力ある・行きたくなる学校づくりの「キセキ」
・発表：白石市教育委員会指導主事【正路健太】
- 白石きぼう学園の「キセキ」
・発表：白石きぼう学園校長【我妻聡美】

【第二部】 学校の魅力を考える

—パネルディスカッション—

学校の魅力とは何か… 児童生徒に寄り添うとは…
学校が楽しい・楽と言う子供たちの思いは何か…
今後の学校の在り方は… ともに考えます！

- パネリスト（敬称略）
 - ・白石市長【山田裕一】
 - ・宮城教育大学大学院教授【久保順也】
 - ・白石市教育支援センター所長・SV【狩野隆】
 - ・白石きぼう学園教頭【生出真理】
 - ・白石市立東中学校教諭【清原美美子】
- モデレーター
 - ・白石市教育委員会指導主事【星健太郎】

会場

白石市中央公民館

〒989-0206 白石市字寺屋敷前25-6

日付

令和6年2月8日（木）

時間

受付 14:30～
シンポジウム 15:00～16:40

参加
方法

対面・オンライン

申込

応募フォーム

締切 令和6年1月26日



主催：宮城県白石市教育委員会
共催：白石市校長会
後援：宮城県教育委員会

連絡先
〒989-0292 白石市大手町1-1
TEL.0224-22-1342 FAX.0224-22-1345

担当：学校管理課
星・小野寺

プログラム

(敬称略)

2024年2月8日(木)

14:30 受付開始・オンライン招待

15:00 **オープニング**

■主催者挨拶

半沢 芳典(白石市教育委員会 教育長)

15:10 **第一部 白石発の「キセキ」 実践報告**

■魅力ある・行きたくなる学校づくりの「キセキ」

正路 健太(白石市教育委員会指導主事)

■白石きぼう学園の「キセキ」

我妻 聡美(白石きぼう学園校長)



我妻 聡美

正路 健太

15:45 **第二部 学校の魅力を考える**

ーパネルディスカッションー

・パネリスト

山田 裕一(白石市長)★

久保 順也(宮城教育大学大学院教授)★

狩野 隆(白石市教育支援センター所長・SV 元白石市立白石中学校長)

生出 真理(白石きぼう学園教頭)

清原 芙美子(白石市立東中学校教諭)

*みやぎ魅力ある・行きたくなる学校づくり事業担当

・モデレータ

星 健太郎(白石市教育委員会指導主事)



山田 裕一



久保 順也



狩野 隆



生出 真理



清原 芙美子



星 健太郎

16:35 **クロージング**

■講評

宮城県教育委員会

★Guest Panelist Introduction



久保 順也 様

宮城教育大学大学院教育学研究科
高度教職実践専攻 教授

2022年4月より現職に就かれております。臨床心理学、カウンセリングを研究領域とし、宮城県教育委員会「学校以外の場で学ぶ児童生徒を支援するための連携に関するガイドライン」に係る検討会委員長を務めるなど、いじめ・不登校問題等の分野の第一線で御活躍されております。



山田 裕一 様

宮城県白石市 市長

2016年11月より40歳という若さで現職に就かれております。

「誰一人取り残されない教育」を信条に、学力向上や不登校対策、また、子育て支援やシビックプライドの醸成を推進し、ICTを含む学校教育の充実や教育環境の整備等、教育施策に積極的に取り組んでおられます。

令和6年1月 定例記者会見資料

弥治郎こけし村開村30周年・市制施行70周年記念事業 第30回「雛の宴展」開催について

本イベントは、桃の節句に向けて、地元弥治郎系工人のほか、全国各地の工人が心を込めて制作した「ひなこけし」たちを展示販売しており、今年で30回目を迎えました。木肌がやさしく、ひな人形とはひと味違った、木のぬくもりいっぱいのおひなさまが勢揃いしています。表情豊かで愛らしく、「こけし」とはまた違う魅力を味わうことができる「ひなこけし」たちを、弥治郎こけし村へ足を運んでいただき、ぜひお楽しみください。また、昨年引き続き、端午の節句に因んだ作品も取り揃えておりますので、こちらも併せてお楽しみください。

1. 概要

- ①開催場所 弥治郎こけし村（白石市福岡八宮字弥治郎北72-1）
- ②開催期間 令和6年1月27日（土）から令和6年3月3日（日）
※毎週水曜日は定休日
- ③開催時間 午前9時～午後4時（入村料 無料）
- ④出品者数 約30人
- ⑤出品点数 約500点

雛の宴展

二〇二四年一月二十七日（土）～三月三日（日）

午前九時～午後四時

毎週水曜日休村

地元弥治郎系工人ほか、東北各地の工人が心を込めて制作したひなこけしたち。木肌がやさしく、ぬくもりいっぱいのおひなさまが勢揃いしています。端午の節句の作品展示も同時開催いたします。表情豊かで愛らしく、こけしとはまた違う魅力を発見してください。



弓ホシ台良区
こけし村

Yajirou Kokeshi Village

〒989-0733 宮城県白石市福岡八宮字弥治郎北 72-1

TEL/FAX

0224-26-3993

✉ y-kokeshi@ji.jet.ne.jp

地図はこちら

